

■ 3 級自動車整備士合格しました

-自動車整備士養成科-

自動車整備士養成科の3年生は養成課程の2年6ヶ月が修了し、国家試験である3級自動車整備士試験に挑戦しました。今年度は難問の多い問題であったと担当の教員が分析しておりました。見事合格を果たした生徒の発表をします。

M3-1 岩本多加司	M3-1 大島 翼
M3-1 片山 左京	M3-1 釜井 直樹
M3-1 黒須 陽平	M3-1 小林 遼司
M3-1 齋藤 充	M3-1 澤田 駿介
M3-1 白川 大地	M3-1 田野岡辰吾
M3-1 橋本 和宏	M3-1 檜原明日香
M3-1 廣瀬 良明	M3-1 寶示戸耀平
M3-1 松川 和樹	M3-1 山本 那菜
M3-1 若林 克俊	M3-1 和氣 幹樹
M3-2 内山 敦	M3-2 岡村 雄基
M3-2 小野 昌俊	M3-2 亀田 学
M3-2 黒崎 遼馬	M3-2 小嶋 有音
M3-2 小林 弘樹	M3-2 金野 翔太
M3-2 坂本 知弘	M3-2 笹沼 恒平
M3-2 清水 一生	M3-2 高木 翼
M3-2 長 宏輝	M3-2 津野田高明
M3-2 直井 達哉	M3-2 野澤 和史
M3-2 野沢 涼太	M3-2 古内 亮汰
M3-2 町田 裕哉	M3-2 谷口健太郎
M3-2 山口 大介	M3-2 山野井大記

■ 自転車競技で入賞しました

-千葉国民体育大会-

千葉県でおこなわれた国民体育大会に出場しました。今回が高等学校最後の大会であり、とてもプレッシャーがかかりましたが、団体戦はいつもの通り落ち着いて走ることができました。個人戦



では予選を通過して、初の決勝戦へ進むことができました。結果は団体戦で2位、個人戦では3位に入賞することができ、特に団体戦では負けたくなかったため、悔しい気持ちで一杯でした。それでも自分にとって力を十分に発揮できた大会でした。

F 3-3 西村 宗一郎

■ いち早く大学入学が決まりました

-国際医療福祉大学合格-

9月のAO入学試験で、国際医療福祉大学医療福祉学部合格することができました。

将来、年齢を問わず様々な人を支える仕事がしたいと考え、医療ソーシャルワーカーとして働きたいと思っています。少子高齢化が進んでいる今、福祉の仕事は社会を支えていくのに必要不可欠なものだと思うからです。

全商簿記1級をはじめ高校3年間で取得した資格を活かし、福祉と経営の両方を学べる大学を受験しようと決めました。AO入試で合格できたのは、何度も面接試験の指導をしてくださった先生方や放課後遅くまで、各種の検定試験受験のため共に励んだ友人のおかげです。

大学入学後は勉学はもちろんのこと、人間的にも大きく成長したいと考え、積極的にボランティア活動に参加していきたいと思っています。

B 3-1 佐藤 琴乃

■ クラス立案による校外学習から

ライフデザイン科 1-3

那須街道清掃活動



クラスで校外学習について話し合い、那須街道の美化活動をすることになりました。

10月22日、8時30分バスで那須へ向かい、目的地に着いた私達は軍手をし、班毎に街道沿いのゴミを拾い始めました。はじめは面倒だと思いましたが、ゴミを拾っているうちに周りが綺麗になっていくのに気づき、とても嬉しい気持ちになりました。そして、皆が協力し合って頑張れたという充実感がありました。帰りにハイランドパークに寄り、短い時間ではありましたが友達とのコミュニケーションが取れて、とても良い校外学習ができました。

大橋 陽穂

ライフデザイン科 3年

ファッションコースの教材探索

3年生のライフデザイン科ファッションコースは、10月1日(金曜日)校外学習として、日暮里繊維街見学に行ってきました。生徒たちのかねてからの希望であった繊維問屋が集まる日暮里で、卒業製作に向けてそれぞれのデザインに合った布を購入したいと、生徒たちが立案しました。計画の際は、バスの駐車場をどこにするか、どのお店が一番安く購入できるか、様々な調査をしてから校外学習に参加しました。

生徒たちは、製作するドレスのデザインを片手に、材料をいかに安い値段で購入するか、店員さんと商談し思い思いの布を購入しているようでした。ドレスの完成が楽しみです。

コース担当 山本 貴子 教諭



L3-2 苅部 実季



L3-1 直井 香菜実

購入後、製作している生徒達の様子です。

美術デザイン科 2-1

三鷹の森ジブリ美術館見学

「大好きなジブリをたくさん見られる！」朝からそんな思いで胸を躍らせていました。着いた美術館はまるで物語に出てきそうな不思議なところでした。「とにかく全部をみたい!!」一緒に行動した友達を巻き込んで右



へ左へ、上へ下へとたくさん歩きまわりました。

宮崎駿監督の仕事場から「動きはじめ」の部屋、映画になるまでの段階や美術館でしか見られない短編映画……。とても有意義な楽しい時間を過ごすことができました。大人になってまた行きたいと思いました。

田中 さや香

■ 県芸術祭で受賞しました

-栃木県準芸術祭賞-

第64回栃木県芸術祭美術展の彫刻部門において、準芸術祭賞をいただきました。また、その前に行われた別の作品は第31回宇都宮市民芸術祭美術展において、準市民芸術祭賞を受賞することができました。今回の作品



『存在』

制作には数ヶ月をかけ、先生方のご指導のもと試行錯誤を重ねながら、完成させることができました。時には、彫刻専攻の仲間達と励まし合い、共に頑張る制作へ取り組みました。この事を糧に、卒業制作展では、高校三年間の集大成となるような作品に仕上げたいと思います。

D 3-1 石山 友梨香

■ 教員紹介

食卓にのぼる器は、さまざまあるが、最もポピュラーなものとして真っ先に名前が挙がるのは、きっと「洋食器」に違いありません。普段使っているシンプルな白いお皿から晩餐会用の豪華なディナーセットまで、実に多種多彩。私はその中でもヨーロッパの歴史と伝統に磨かれてきたヨーロッパポーセリンの魅力にひかれました。艶やかな光沢をたたえた白い素地、器面を華やかに彩る絵柄と文様。さらには、思わず嘆息をもらしたくなるほどの見事な色合いと造形美、見る事だけでなく、自分で作りたいたいと思ひ、絵心がない私でも、夢中で絵付けをして楽しんでいきます。自分の作った作品が生活の中に少しずつ増えて行く喜びが私のリフレッシュとなっています。



ライフデザイン科 田中 智奈美 教諭

編集者から

最近、円の価値が上がる「円高」によって、社会は大変苦しい状況になっています。特に輸出に頼っている企業は「円高」が続きますと、日本製品の値段が海外で高くなり売れなくなってしまいます。そのため、日本の製造企業は外国へ低い賃金の労働力を求め工場をつくり、安く製品をつくるようになります。

したがって、国内では高い技術を持って付加価値の高い製品をつくる必要があります。そのためにも、生徒の皆さんはしっかり学び、それらのことに対応できる人物とならなければなりません。頑張ってください。

中山 幹明